

ぐんま “まちづくり” ビジョンシンポジウム

基調講演

住み続けられるまちづくりのために — 持続可能な交通をつくる責任、つかう責任 —



参加無料



インフォメーション

- 開催日時 令和6年7月26日(金) 13:45 ~ 16:00 (開場13:15)
- 会場 群馬会館 2階ホール (群馬県前橋市大手町二丁目1番1号)
- プログラム 第1部 表彰式 まちづくり功労者表彰
第2部 事例発表 群馬県 知事戦略部 交通イノベーション推進課
第3部 基調講演 和歌山大学経済学部 教授 辻本 勝久 氏
- 申込方法 上記QRコードまたは電子メール、FAXに必要な事項記入の上、申し込みください。
電子メール machi-kikaku@pref.gunma.lg.jp FAX 027-221-5566
必要事項：参加者氏名、団体名、電話番号、メールアドレス 【申込期限7月19日まで】
- 問合せ先 群馬県 県土整備部 都市計画課 企画推進係 電話：027-226-3661 (直通)



地域交通の再生で、持続可能な社会へ
豊富な事例と実践から学ぶ
新着の事例集2冊

基調講演

辻本勝久 著

SDGs時代の 地方都市圏の 交通まちづくり



地域交通の再生で、
持続可能な社会へ

豊富な事例と実践から学ぶ
総合的な政策と取組

学芸出版社

『 住み続けられるまちづくりのために

— 持続可能な交通をつくる責任、つかう責任 —

講師 和歌山大学経済学部 教授 辻本勝久氏

より良い社会をつくるための世界共通目標であるSDGsには、「住み続けられるまちづくりを」というゴール（なりたい姿）が掲げられています。その実現に向けては、安心・安全で環境にも優しい交通手段を使って、誰もが気兼ねなくお出かけしやすい状況をつくるのが大事です。そんな中、わが国では鉄道やバス路線の廃止が相次ぐなど、地域の公共交通が危機的状況に陥っています。道路等にも課題があります。この講演では、交通基盤や交通サービスを供給する側、利用する側の双方の立場から、住み続けられるまちづくりのためにすべきこと、できることについて考えます。

事例発表



『 こどもデマンド渋川の取組について 』

発表者 群馬県 知事戦略部 交通イノベーション推進課

GunMaaSの多分野連携の一環として実施した「こどもデマンド渋川」。児童の習い事等の送迎に伴う保護者の負担軽減や、送迎の不可による教育格差の是正といった教育の社会課題の解決を交通の観点から実証を行いました。今回は、GunMaaSの活用や運行スキーム、実証結果や実施後のアンケート結果について紹介します。

アクセスマップ（群馬会館HPより）



駐車場に限りがございます。公共交通機関の利用にご協力ください。
※駐車場は、県庁構内県民駐車場をご利用願います。

ぐんま景観・まちづくり展

群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」にて公開予定！昨年度の作品は以下より見ることができます。ぜひご覧ください。



問合せ先

群馬県都市計画協会（群馬県都市計画課内）
電話番号：027-226-3661
Mail: machi-kikaku@pref.gunma.lg.jp